

活 動 記 録 書

開催日： 令和元年 11 月 22 日(金) 曇のち雨	開催テーマ： 房総の坂東札所と「波の伊八彫刻」の寺巡り
開催場所：千葉県 いすみ市 長南町	記入者： 杉山 茂
参加人数： 会 員 男 20 名 女 9 名 計 29 名 ビジター 男 8 名 女 9 名 計 17 名 合 計 46 名	
実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース： 金沢文庫-首都高-アクアライン(海ほたる SA)-圏央道-大多喜町-清水寺(拝観) -飯縄寺(拝観)-九十九里ビラ外房(昼食)-行元寺(拝観)-笠森観音(拝観) -圏央道- -房総四季の蔵(買い物)-アクアライン-首都高(大黒 SA)-金沢文庫(解散) 曇り空の下定刻出発、海ほたる SA では雨が降り出し、最初の探訪先清水寺の急な坂を上るときは本降りの雨となった。ここから「いすみ市民ガイド」のガイド二人がついた。立派な仁王門の下で、いすみの地について地名の由来、古代朝廷との関係、時代が下り頼朝との関連について説明があった。 大同 2 年(807)創建と伝えられる清水寺、十一面観音菩薩が本尊、坂東三十二番札所として多くの信仰者を集め、本堂を始め立派な堂宇があり、日本 3 大清水寺の一つであることを実感した。 飯縄寺、波の伊八の作品を見る最初のお寺、予想に反して意外に小さな本堂、本堂入り口に掲げられた額に天狗の面、天狗のお寺である。本堂内の欄間はお目当て波の伊八の彫刻「牛若丸と大天狗」、住職に詳しく解説して頂いた。 飯縄寺拝観の後、九十九里ビラ外房でバイキングの昼食。 午後最初の探訪先行元寺、雨脚が強いなか仁王門をくぐり房総屈指の大本堂へ、本堂内には高松又八の豪華絢爛な彫刻、奥に進み客殿にある波の伊八の彫刻、お寺の方から北斎との関係を含め丁寧に解説して頂いた。「いすみ市民ガイド」はここで終了。 最後の探訪先坂東第三十一番札所笠森観音、雨の中急な坂を上り現れたのが本尊十一面観音菩薩を安置する日本唯一の「四方懸造」の観音堂、さらに階段を上り堂内に、晴れていれば良い景色が望めたのにといいながら堂内を一巡り、境内を見る間も無くバスへ。 いすみの地は古来地味豊かなところから、中央と結ばれ、今回訪れた 4 寺院全て古い宗派天台宗であるなど古くから栄えた地域に文物が集積された、因みに現在この地域に 150 余の寺社があるという、今回テーマの波の伊八の彫刻もその一つであろう。飯縄寺・行元寺のお寺関係者及びいすみ市民ガイドの説明で伊八の彫刻さらに関連する北斎を含めこの地について知識が深められたと思う。 夜のとばりが降りる頃、最後の立寄り先房総四季の蔵に到着、買いたい放題・払い放題(バスガイドの弁)で買い物を楽しみ帰途についた。 悪天候のなか事故もなく帰着予定 1 時間遅れで無事金沢文庫に到着した。	
参加者の状況・意見など： ほぼ 1 日中雨に降られ、参加者の方々は急坂があるなど苦労されたでしょう、とくに笠森観音では雨と急坂の影響で拝観できない方が 16 名になってしまい、天候の影響であるが少し残念な気がする	
次回の予定： 12 月 5 日(木) 10 時 根岸線 山手駅 テーマ「本牧山頂公園と紅葉の三溪園散策」	